

しどういん

発行
厚木市青少年指導員
連絡協議会
編集 広報部会
厚木市中町1-1-3
TEL 225-2580

**青少年指導員と
ジュニアリーダーについて**
こども未来部青少年課

厚木市では、青少年の健全育成を推進するために、青少年指導員連絡協議会をはじめ、青少年健全育成会連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、母親クラブ連絡協議会、ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会などの団体が、それぞれの役割に基づき青少年の健全育成に関わっています。

ジュニアリーダーは、中学一年生から高校二年生までの子ども達で組織しており、学校生活や青少年関係団体活動への協力や地域社会への参加を通して、明るいまちづくりに役立とうと百十人の会員で発足し、今年で三十年が経ちました。現在では、市内十三中学校区全てに組織されており、会員も三百人を超えるまでに成長しました。

自分たちの活動だけでなく、子ども会の行事や市主催事業など様々なボランティア活動を通して、「大人と子どもの架け橋」となり、活発に活動しています。

ジュニアリーダーがこのように活動できるのも、青少年指導員などのサポートの賜物といえ

関係者等との協力体制を整備
青少年指導員連絡協議会
会長 堀田 哲郎

今年度も関係団体及び行政の協力を賜り、種々の活動が出来ましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、平成二十三年四月一日に施行される神奈川県青少年保護育成条例の第五章第四十三条に「知事は、市町村長又は市町村の教育委員会が推薦する者を青少年指導員として委嘱すること

とができる。」と明文化されています。これにより我々の活動の根拠が明らかになります。

また、第四十二条には「学校その他の関係機関と連携及び協力して、青少年の健全な育成に関する取組を行うために必要な体制を整備するよう努めなければならない。」(要約)とあります。

これは一定の義務が生じるというのですが、今までの活動に変化が生じるわけではありません。また条例に照らし合わせ

青少年健全育成大会での
ジュニアリーダー



平成二十三年度事業予定
○青少年指導員自主事業
五月 少年少女フェスティバル
六月 野外指導者養成講習会
七月 指導員技能向上研修会
十月 他市視察交流研修会
広報誌「しどういん」発行
二月 スポーツ等実技講習会
三月 活動記録冊子「青少年とともに」発行
年間 部会活動の推進 理事会
○ジュニアリーダー育成等事業
五月 カウンセラー養成研修会
六月 他市町村広域交流研修会
七月 初級・中級養成研修会
三月 上級養成研修会
○その他
神奈川県青少年指導員連絡協議会の事業や市内関係団体等の主催事業に参加 協力

神奈川県青少年指導員 表彰を受けて 南毛利地区 渡辺 八重子

第四十三回神奈川県青少年指導員大会が、川崎市高津市民会館で開催され、県央地区代表として表彰していただきました。

指導員活動に参加して、とりたてていうほどの貢献もしていないと思いつつ、いつの間にか十数年、地域の仲間、部会の仲間を支えられての、このたびの表彰を大変うれしく思います。



会場に向かう移動中の車内は青少年指導員連絡協議会会長や南毛利地区の仲間とわいわいとにぎやかな道中で緊張もほぐれランチタイムも一緒に囲み、楽しく過ごしてまいりました。

今後も行政機関、青少年団体とともに協力し合い、多くの青少年が参加活動できる環境作りをし、世代を超えた交流の場を

渡辺さん
おめでとうございます

感謝状をいただいて 南毛利南地区 菅野 昭男

この度、「青少年指導員として青少年健全育成に尽力」したということとで感謝状をいただきました。

青少年指導員を委嘱されて三



菅野さん
おめでとうございます

このたび、感謝状をいただいたことは「これからもっと頑張りたい」との叱咤激励」と受け止め、心新たに精進してまいります。

期目を送っています。この間どれほど青少年の健全育成に寄与できたかは、はなはだ心許ない次第です。委嘱された当初、何をしようかわからず暗中模索の状態でした。何とかこれが青少年指導員の仕事かなと思えるようになったのが二期目くらいだと思っています。今は地域の活動に積極的に参加しようと心掛けています。

また、団体育成部会に属しジュニアリーダーの活動を支援するとともに、相談役として子ども達と一緒に活動しています。

テクニクにあこがれを抱きながら、中学、高校と青春時代の全てを注いで活動してきました。私たちの活動を知らない人から見れば、若者の集まり、にぎやかな集団で片付けられていたのかもしれないが、その中から多くのものを学び、仲間とのつながりを意識することができました。

三十周年という月日は一学年で五十人のジュニアリーダーが活動したと考えても千五百人が青春を注いできたことになりません。そのような数多くの若者たちの熱い想いが集まり、歩み続けたジュニアリーダーの活動と想いがこれから先の時代へとつながっていくことを切に願っています。

おめでとうございます
永きにわたる活動により、表彰を受けた仲間たちです。

■神奈川県青少年育成活動
推進者表彰 ■
(平成二十三年一月二十九日)
荻野地区 岩崎 志郎

■神奈川県青少年指導員
連絡協議会表彰 ■
(平成二十二年十一月十四日)
南毛利地区 渡辺八重子

■厚木市表彰 ■
(平成二十三年一月二十九日)
荻野地区 吉田 勝行
依知北地区 細山 信

■厚木市青少年育成活動
推進者表彰 ■
(平成二十二年十一月二十八日)
南毛利南地区 菅野 昭男
森の里地区 山本 星子
森の里地区 中島 道夫
玉川地区 三橋 弘明
玉川地区 三橋 正巳
厚木南地区 川島 智
南毛利地区 戸澤 富夫



熱気あつぎのごみ収集 南毛利地区 伊藤 三明

ヤングコミュニティセンターで顔を合わせ、白と紺のキャップに赤いユニフォームを身に付け、いざ会場へと向かいまし
た。既に朝から美食を求めて並ぶ人々の熱気と共に、気温もうなぎ上りに上昇、例年に無い猛暑となりました。炎天下での呼びかけや分別、人混みの中の運搬、皆一生懸命になつて自ら進んで作業をしていました。

来場頂いた方々からは、他会場への道順、投票ルール、シャトルバスの運行についてなど想定外の質問や意見を頂きましたが、ジュニアリーダーは厚木の顔としての自覚を持ち、明るく立派に受け答えをしてくれました。きつと、元気な街を感じ取つて貰えたと思います。

残念ながら出展の品々を味わう事は出来ませんでした。熱気(あつぎ)、いただきます!のキャッチフレーズ通り、人の食に対する関心の強さを肌で感じながら、仲間とともに暑い、そして熱い貴重な二日間を過ごす事が出来ました。

活気溢れた二日間

陸合西地区 曲淵 貴子

二日間とも残暑が厳しかった

せいか、ペットボトルの資源ごみの多さには本当に驚きました。すぐにいっぱいになってしまふ大きなごみ袋を、何度も駅前から市庁舎の裏へ運ぶ作業は大変でした。

ジュニアリーダーも、最後まできちんとした態度で、来場者のみなさんに分別をお願いしたり、時には道案内をしたりと大活躍でした。

B-1グランプリ

in ATSUGI

に参加して

平成 22 年 9 月 18 日(土)・19 日(日)、日本全国から注目される記念すべきイベントが厚木市で開催されました。指導員は、ランドー駐立場会場を中心に、ジュニアリーダーとともに総勢約 100 人で会場整備や環境美化などにあたりました。

暑い夏の一ページ

南毛利南地区 久保 勝寿

B-1グランプリには、イト

ーヨーカードー会場の投票用箸詰

め係として、二日間参加しました。両日とも雲ひとつない快晴、赤いイベントTシャツの袖口や首周りが白黒はつきりするくらい日に焼けました。

箸詰め係は、投票・計量された箸を会場裏手に運び、直ぐに処分できるようにダンボールに詰め込む係ですが、仕事は一時間に一回、その間は投票の呼び掛けや投票に並ばれた参加者の列の整理を手伝いました。これがものすごく大変。投票の列と会場を行き来している参加者がごっちゃになり、割り込むなよ」とか、「列の最後尾はどこ?」とウロウロする人とか、あちこちで険悪な雰囲気になっていました。そんな中でもジュニアリーダーは一生懸命に列の整理に走り回り、汗だくでした。

かなりきついことを言われたこともありましたが、終わってみればすべて良い思い出、次回は一参加者として姫路に行こうかな。



頑張れ!ジュニアリーダー

平成二十二年度厚木市青少年健全育成大会事例発表を行って

森の里地区 徳田 勝彦

森の里地区では、事例発表を行いました。実践事例は多岐にわたりますが、今年度新たに企画実施した二つの活動について紹介しました。

一例目は、五月に実施した「森の里ドロリンピック」です。森の里公民館と森の里小学校共催のふれあい田んぼで、田植え前の代かきを兼ねて「泥んこ駆けっこ大会」を行いました。子ども達は夢中で田んぼの中を駆け回り、泥まみれになりました。笑顔一杯で楽しんでいたのが印象的でした。小さな時に土に触れる機会がないと大人になってから土を遠ざける傾向にあるそうです。地域事業に関わりある活動を通して、大地に親しむ心を養うことをめざしました。

二例目は、九月に実施した「森の里通学合宿」です。親元を離れて森の里公民館で一泊し翌朝公民館から学校に登校しました。小学校低学年から高学年まで四十五名が参加しました。できることを分担し、全員が力を合わせて合宿を乗り切りました。集団生活の中で自分の立場・役割を見つけて自然に「生きる力」を身に付けてくれるこ



森の里ドロリンピック
よ~い ドン!

地区活動紹介

玉川をきれいにし隊

玉川地区 三橋 正巳

「玉川をきれいにし隊」は、玉川地区青少年健全育成会連絡協議会の呼びかけで、玉川と森の里にある小・中学校の児童・生徒、PTAの役員、教職員で川の清掃活動をしています。

毎年八月の第一土曜日に開催し、参加者は、およそ一五〇人です。学校が夏休み期間中でもあり、児童・生徒と家族が、一緒に参加しています。最近では一般の方の参加も多くなり、自分たちの玉川をきれいにしたいとの思いが強く感じられます。清掃は、小野児童館前から玉



玉川をきれいにし隊

川公民館までの約一・五キロを行います。途中に堰や水位の深いところもありますが、中学生が小学生の面倒をみて、ケガもなく全域の清掃をしています。

川から集めた、空き缶やペットボトル、金物や生ごみ、燃えるごみ等に分けてから終了です。

毎年ごみの量も減っており、過去に参加された子ども達の川を汚さない意識が芽生えた成果だと感じております。

そして、作業終了後に振る舞われる役員による「お手製の力レーアイス」やニジマスの塩焼き、アイスクリームを子ども達は毎年楽しみにしています。

自然を生かした活動

小鮎地区 堀田 哲郎

小鮎地区のメンバーは男性五人、女性三人で、最長十九年から一年までと経験はいろいろですが、年二回の宿泊研修を実施するなど、まとまりのいいチームとなっています。

活動については全員が小鮎地区青少年健全育成会の役員で、内三人が本部役員となつており、全ての育成会行事にかかわっています。付帯する学校評議員、児童館運営委員、児童ク

び地域福祉推進委員会主催のサイクリングを実施しました。

当日は絶好のサイクリング日和で、湘南サイクリングロード起点の柳島から三班に分かれて目的地の江の島に向けて十時に出発しました。少し汗ばむ陽気でしたが、雪化粧をした富士山と湘南の眩しい海と潮風がとても心地よく感じられました。

最初の休憩地点のヘッドランドで早速参加賞のおやつを頬張りながら、波遊びや水切りや貝殻拾いと皆とても楽しそうでした。その後、江の島に向けて元氣よくスタートをしましたが、浜須賀付近から二日前の強風雨による大量の砂が積もっており自転車を下りて押しながら通過しなければならぬ箇所がありました。

無事に江の島に到着し、お楽しみ会の昼食時間となりました。前日から仕込んだ手作りの豚汁がとてもおいしかったです。昼食後は付近を散策し、十四時半に江の島を後にしました。

帰りのバスの中では、元気一杯の子ども達の笑い声が絶えず、私達スタッフもその笑顔を見て、疲れも吹き飛び満足感があふれてきました。

「はたちのつどい」に参加して 厚木南地区 北川 美枝子

冬晴れの穏やかな一月十日、成人式が午前と午後の二部に分かれ開催され、指導員は受付・場内外の整理などの手伝いをしました。

普段の装いとは違った振り袖や袴、スーツ姿で来場、心身共に身の引き締まった面持ちの新人達。そこでは、数年ぶりの、中には小学校の卒業式以来という友達に再会するとあちらこちらで懐かしさとお互いの変化に話が弾み、写真を撮り合い、「会場へどうぞ」と促してもなかなか入ってはくれません。

一番注意を払ったのは、悪ふざけをして行き過ぎる行為を未然に防ぐ事。式典も盛り上がり無事にお開きとなり、周りにいる大人も初々しい気分の一日常になりました。

これから先も気配り・目配りのできる大人になつて欲しいと思います。



みなさん
おめでとございます